

# 看護学科 ディプロマポリシーと学習到達度評価表

【質問No】	【評価の数値】→	5 とても期待以上	4 やや期待以上	3 期待どおり	2 やや不足	1 とても不足
↓	1. 人を理解するための幅広い教養と福祉に関する専門的な知識を持ち、看護の専門職として人を支援するための基本的技術を有している。	講義・演習科目の GPA3.5以上	講義・演習科目の GPA3以上	講義・演習科目の GPA2.5以上	講義・演習科目の GPA2.0以上	講義・演習科目の GPA2.0未満
1	1-1. 看護に活用される理論の基礎的知識を身につけ、未来で活躍する看護職としてのビジョンを有している。	自らの言葉で 目指す看護師像と課題を他者に伝え、話し合うことができる	自らの言葉で 目指す看護師像と課題を他者に伝えることができる	自らの言葉で 目指す看護師像と課題を述べることができる	支援を得て自らの言葉で目指す看護師像と課題を述べることができる	目指す看護師像と課題を述べることにか なりの支援を要する
2	1-2. 看護の対象であるあらゆる人々と家族の健康と生活についての理解を深めることができる。	看護の対象の健康と生活の理解を深める方法を自分で考え実践できる。	看護の対象の健康と生活の理解を深める具体的方法を説明できる。	看護の対象の健康と生活の理解を深める方法について項目を挙げることができる。	看護の対象の健康と生活の理解を深める方法について思い浮かべることができる。支援を得て述べることができる。	看護の対象の健康と生活の理解を深める方法について自分の言葉で表現できない
3	1-3. 対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深めることができる。	対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める方法を自分で考え実践できる。	対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める具体的方法を説明できる。	対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める方法について項目を挙げることができる。	対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める方法について思い浮かべることができ支援を得て述べることができる。	対象を支える保健・医療・福祉従事者および地域の人々への理解を深める方法について自分の言葉で表現できない
4	1-4. 看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深めることができる。	看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める方法を自分で考え実践できる。	看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める具体的方法を説明できる。	看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める方法について項目を挙げることができる。	看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める方法について思い浮かべることができ支援を得て述べることができる。	看護実践に必要な内容・方法に関する知識・理解を深める方法について自分の言葉で表現できない
5	1-5. あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を習得している。	あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を実施するための準備を自分で整えることができる	あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を実施するための準備について説明できる。	あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を実施するための準備について必要な項目を挙げることができる	あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を実施するための準備について思い浮かべることができ支援を得て述べることができる。	あらゆる場において看護を実践するための応用可能な基本的技術を実施するための準備について自分の言葉で表現できない
	2. 看護の専門職として人権を尊重する高い倫理観を有し、専門的な知識を活用しながら、保健・医療・福祉・教育の関連職種と連携して、主体的に問題を解決する能力を有している。	実習科目の GPA3.5以上	実習科目の GPA3.0以上	実習科目の GPA2.5以上	実習科目の GPA2.0以上	実習科目の GPA2.0未満
6	2-1. さまざまな知識・技術を統合し活用するために論理的に考える姿勢を有している。	自分が看護実践するために必要な知識や技術について、必要となる根拠を挙げて説明できる。	自分が看護実践するために必要な知識や技術について、必要となる根拠を挙げることができる。	自分が看護実践するために必要な知識や技術の項目を挙げることができる。	自分が看護実践するために必要な知識や技術について、支援を得て項目を挙げることができる。	自分が看護実践するために必要な知識や技術について、自ら挙げるできない。
7	2-2. 知識を活用し、看護過程の展開ができる。	自分が実施した看護過程の展開について根拠を示して説明できる。	自分が実施した看護過程の展開において不足する学習項目について学習し、支援を得て看護過程の展開と関連付けて説明できる。	自分が実施した看護過程の展開において不足する学習項目を挙げることができる。	自分が実施した看護過程の展開において必要な学習項目を支援を得て挙げることができる。	自分が実施した看護過程の展開において必要な学習項目を自ら挙げるできない。
8	2-3. 学習継続のために心身の健康と行動を自らまたは適切な支援を得て管理できる。	実習における欠席、遅刻、早退がない。	実習における欠席、遅刻、早退がそれぞれ1回以内であり、きちんと連絡がある。	実習における欠席、遅刻、早退がそれぞれ2回以内であり、きちんと連絡がある。	実習における欠席、遅刻、早退がそれぞれ3回以上であり、きちんと連絡がある。	実習における欠席、遅刻、早退がそれぞれ3回以上であり、連絡が不十分である。
9	2-4. 学習目標達成のために、自己の役割を理解し、グループでの学習、実習を遂行できる。	実習におけるグループでグループ活動を活性化し、グループとしての学習効果を高めている。	実習におけるグループでグループグループとしての学習効果を高めている。	実習におけるグループでグループにおける自分の役割を自覚し参加している。	実習におけるグループで支援を得てグループ活動に参加している。	実習におけるグループでグループ活動に参加できない。
10	2-5. 看護の対象である人々を護りその人々の代弁者となる意識を有している。	看護の対象者の尊厳と安全を護り、QOL向上のために貢献する意思をもって行動している。	看護の対象者の尊厳と安全を護り、QOL向上のために貢献する意思があり、支援を得て行動している。	看護の対象者の尊厳と安全を護り、QOL向上のために貢献する方法について述べることができる。	看護の対象者の尊厳と安全を護り、QOL向上のために貢献する方法について支援を得て述べることができる。	看護の対象者の尊厳と安全を護り、QOL向上のために貢献する方法について述べることができない。
11	3. 人や地域社会とあたたかい関わりを持ち、円滑な人間関係を築き上げるコミュニケーション能力を有している。	グループ活動やボランティア活動等に主体的に参画し、リーダーシップを発揮している。	グループ活動やボランティア活動等に主体的に参画している。	グループ活動やボランティア活動等に軽度の支援を得て参画できる。	グループ活動等への参加に支援を要する。	グループ活動等への参加にかなりの支援を要する
12	4. 看護の専門職として、よりよき社会の形成に自ら貢献する生涯学習力と実践力を有している。	学内外の講演会や研修会に自主的、積極的に参加し、効率的に自己学習の時間を確保している。	学内外の講演会や研修会に自主的に参加し、自己学習の時間の確保を確保している。	学内外の講演会や研修会に参加し、自己学習の時間の確保を心がけている。	学内外の講演会や研修会に支援を得て参加している。	学内外の講演会や研修会に参加にかなりの支援を要する